

研究所使用欄	受付番号:
--------	-------

試験自動車の諸元表

試験依頼者名	試験自動車製作者の名称
--------	-------------

※以下の項目は試験実施の際に使用する数値であり、試験実施後は、変更・訂正は出来ない場合がありますので、十分確認のうえ記入してください。

1. 試験自動車諸元表

車名・型式		製造・通関年月日 ^{注1}			
車台番号 (シリアル番号)		車両クラス ^{注2*} (PMR)		クラス1・2・3	
自動車通関証明書証明番号		通称名			
原動機	型式	全長 (m)			
	総排気量 (L)	全幅 (m)			
	気筒配列・気筒数	全高 (m)			
	作動方式	乗車定員 (人)			
	過給器の有無* (個数)	有 () 個	無	最高速度 (km/h)	
	最高出力 (kW/rpm)	最終減速比			
	最大トルク (N・m/rpm)	触媒の有無*		有・無 有 (消音器内蔵式)	
タイヤサイズ	前輪	変速機 ギヤ比		1速	
	後輪			2速	
タイヤ空気圧 (kPa)	前輪			3速	
	後輪			4速	
車両の空車質量 (kg) ^{注3}	合計			5速	
	前軸			6速	
	後軸			7速	
最大許容総質量 (kg) ^{注4}	合計			8速	
	前軸				
	後軸				
目標の車両重量 (kg) ^{注5}	合計				
変速機	種類*	手動 ・ 自動 ・ その他 ()			
	形式*	MT ・ CVT ・ その他 ()			
	段数*	段	無段	変速比の固定	可 ・ 不可
車両に搭載されているすべての走行モード等					
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力 (kW)					
備考					

注1. 製造年月日の特定ができるものはその日付を、それ以外の場合は通関年月日を記入してください。

- 「目標の車両質量」より算出したPMRと車両クラス「クラス1」「クラス2」「クラス3」の別を記入してください。
- (クラス1:PMR≤25 クラス2:25<PMR≤50 クラス3:50<PMR)
- 灯火器, 油脂類, ツールキット等を含み, 燃料タンク全容量の90%以上の燃料を搭載している状態。
- 「車両の空車質量 (kg)」に, 1名55kgとして乗車定員分の重量を加算した値。
- 「車両の空車質量 (kg)」に75kgを加算した値。
- *の欄は該当しない区分を消去して, 該当する区分のみを記入してください。過給器の有無が「有」の場合は過給器の個数を, 変速機の段数が「無段」以外の場合は段数を数値で記入して下さい。
- 該当しない項目には「/」を記入して下さい。

研究所使用欄	受付番号:	
--------	-------	--

2. 騒音防止対策装置

種類	消音器 () 個	() 個	() 個
製作者			
内蔵式触媒の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

注1. 騒音防止対策が試験自動車の自動車メーカーで実施されている場合は、製作者欄に「メーカー純正」と記入して下さい。

2. 上記1以外の場合は、製作者の名称を記入して下さい。装着がない場合は「×」を記入して下さい。

3. 車台番号 (シリアル番号) の拓本貼付欄 (車台番号 (シリアル番号) の打刻様式の説明は別紙に記入)

--

注) シリアル番号の場合は「シリアル番号」と記入し () で囲んで下さい。

当該打刻されている番号 (記号、符号を含む) のすべてを記入して下さい。

研究所使用欄	受付番号:	
--------	-------	--

車台番号 (シリアル番号, VIN) の打刻様式の説明記入シート

車名・型式	
-------	--

1. VIN打刻様式の説明記入欄

VIN POs. (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17)

VIN

VIN POs.	打刻様式の説明	打刻記号の説明

2. シリアル番号 (VINを除く) 打刻様式の説明記入欄

--

第2号様式 試験自動車の諸元表 (協定規則第41号)Excel版の記入方法等

1.試験自動車の諸元表

車両クラス	「目標の車両重量」より算出したPMRより、クラス1,2,3の別を記入 PMR= (原動機最高出力/目標の車両重量) ×1000 クラス1:PMR ≤ 25 クラス2:25 < PMR ≤ 50 クラス3:50 < PMR	
原動機	気筒配列・気筒数	単気筒、並列4気筒、V型6気筒、水平対向4気筒、並列2気筒等の別を記入
	作動方式	2サイクル、4サイクル、ロータリー等の別を記入
	最高出力(kW/rpm)	最高出力の表示が「kW」以外の場合は、単位換算し記入
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン、無鉛プレミアムガソリン、軽油等の別を記入
触媒の有無	有、有(消音器内蔵式)、無の別を記入	
車両の空車質量(kg)	灯火器、油脂類、ツールキット等を含み、燃料タンク全容量の90%以上の燃料を搭載している状態で計測した値を記入	
最大許容総質量(kg)	車両の空車質量 + 55kg × 乗車定員	
目標の車両重量(kg)	車両の空車質量 + 75kg	
最高速度(km/h)	原則として走行性能曲線図から求めた速度を記入	
タイヤ空気圧(kPa)	最大許容総質量時の指定空気圧を記入	
変速機ギヤ比	ギヤ比が固定されず連続して変化する場合 (CVT等) は1速の欄に ○.○○○~□.□□□ と記入	
減速比	1次、2次を有する場合には、それぞれを記入	
変速比の固定	走行中に変速比を固定できる機構を持つ場合 (例:MT車両,マニュアルモード付CVT車両) は可 その他の場合は不可	
変速機	種類	手動 : 動力伝達系統にトルクコンバータを有さず、かつ、変速段の切換えを手動でのみ行う変速機 自動 : 変速段の切換えが自動的に行なわれる変速機
	形式	MT (常時噛合式) 、 CVT (ベルト式)
車両に搭載されているすべての走行モード等	エンジン出力特性,変速特性等が変化するモード	
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力(kW)	上記の走行モードの内、そのモードにおける最高出力が、「原動機最高出力」と異なるモードとその出力	

研究所使用欄	受付番号:
--------	-------

試験自動車の諸元表

試験依頼者名	株式会社日本自動車 筑波太郎	試験自動車製作者の名称	アメリカ自動車株式会社
--------	----------------	-------------	-------------

※以下の項目は試験実施の際に使用する数値であり、試験実施後は、変更・訂正は出来ない場合がありますので、十分確認のうえ記入してください。

1. 試験自動車諸元表

車名・型式		アメリカ・AAA-111	製造・通関年月日 ^{注1}	20XX.1.1	
車台番号(シリアル番号)		AAA000111222	車両クラス ^{注2*} (PMR)	クラス3(492)	
自動車通関証明書証明番号		税関証明〇〇〇〇号	通称名	マーベリック	
原動機	型式	AAA	全長(m)	2.149	
	総排気量(L)	1.301	全幅(m)	0.818	
	気筒配列・気筒数	V・2	全高(m)	1.322	
	作動方式	4サイクル	乗車定員(人)	2	
	過給器の有無*(個数)	有(1 個)	最高速度(km/h)	300	
	最高出力(kW/rpm)	130/8870	最終減速比	1.681/2.294	
	最大トルク(N・m/rpm)	144/6500	触媒の有無*	有(消音器内蔵式)	
	使用燃料	無鉛プレミアムガソリン			
タイヤサイズ	前輪	120/70ZR17	変速機 ギヤ比	1速	2.467
	後輪	190/55ZR17		2速	1.765
タイヤ空気圧(kPa)	前輪	240		3速	1.350
	後輪	240		4速	1.091
車両の空車質量(kg) ^{注3}	合計	189		5速	0.958
	前軸	87		6速	0.880
	後軸	102		7速	/
最大許容総質量(kg) ^{注4}	合計	299		8速	/
	前軸	142			
	後軸	157			
目標の車両重量(kg) ^{注5}	合計	264			
変速機	種類*	手動			
	形式*	MT			
	段数*	6段	変速比の固定	可	
車両に搭載されているすべての走行モード等		Aモード,Bモード,Cモード			
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力(kW/rpm)		Cモード(100kW/6500rpm)			
備考					

注1. 製造年月日の特定ができるものはその日付を、それ以外の場合は通関年月日を記入してください。

- 「目標の車両質量」より算出したPMRと車両クラス「クラス1」「クラス2」「クラス3」の別を記入してください。
- (クラス1:PMR≤25 クラス2:25<PMR≤50 クラス3:50<PMR)
- 灯火器,油脂類,ツールキット等を含み,燃料タンク全容量の90%以上の燃料を搭載している状態。
- 「車両の空車質量(kg)」に,1名55kgとして乗車定員分の重量を加算した値。
- 「車両の空車質量(kg)」に75kgを加算した値。
- *の欄は該当しない区分を消去して,該当する区分のみを記入してください。過給器の有無が「有」の場合は過給器の個数を,変速機の段数が「無段」以外の場合は段数を数値で記入して下さい。
- 該当しない項目には「/」を記入して下さい。

研究所使用欄	受付番号:	
--------	-------	--

2. 騒音防止対策装置

種類	消音器 (1) 個	() 個	() 個
製作者	メーカー純正		
内蔵式触媒の有無	有	有 ・ 無	有 ・ 無

注1. 騒音防止対策が試験自動車の自動車メーカーで実施されている場合は、製作者欄に「メーカー純正」と記入して下さい。

2. 上記1以外の場合は、製作者の名称を記入して下さい。装着がない場合は「×」を記入して下さい。

3. 車台番号 (シリアル番号) の拓本貼付欄 (車台番号 (シリアル番号) の打刻様式の説明は別紙に記入)



←車台番号の拓本例。メンディングテープ(白濁色のセロテープ)を打刻に貼り付け、先の丸い赤鉛筆のペンを立てながら塗りつぶした。芯はやわらかい方が良い。

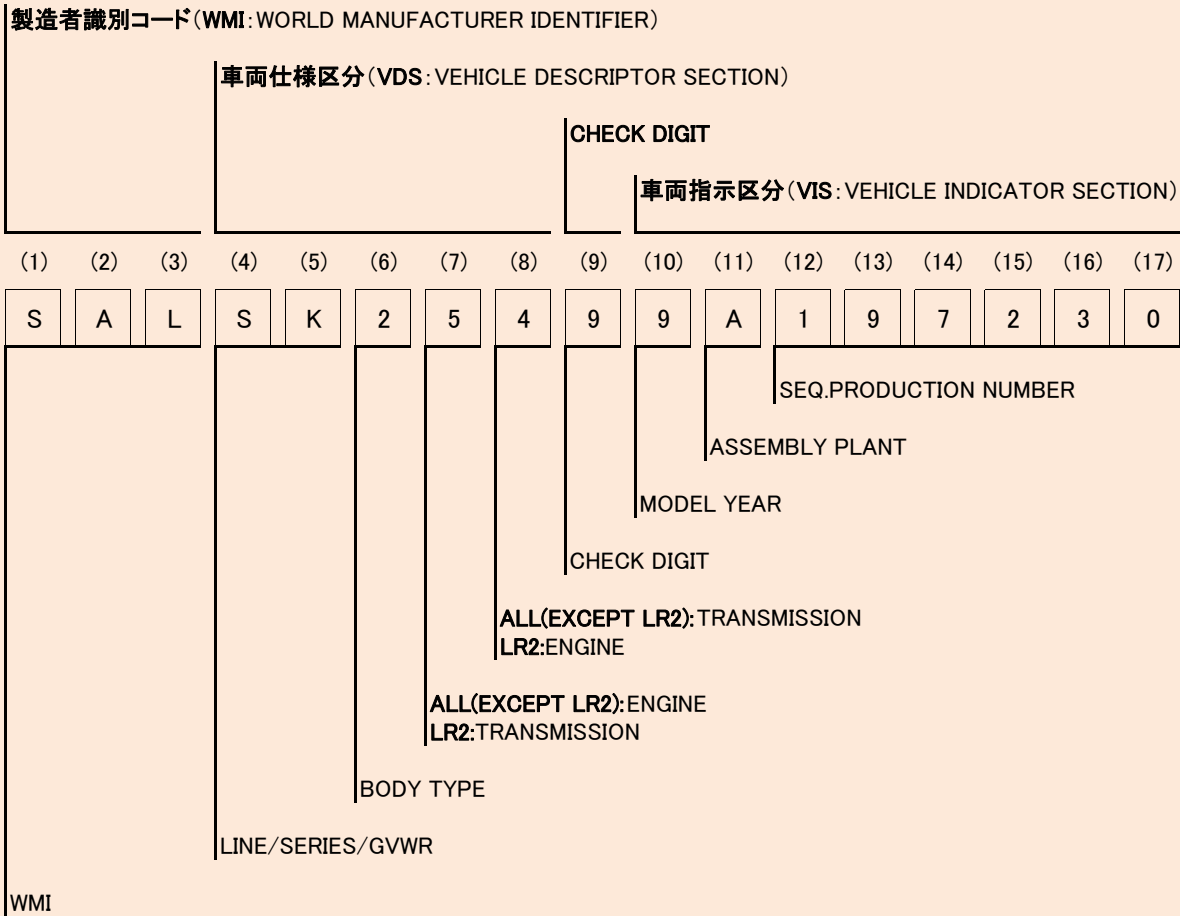
注) シリアル番号の場合は「シリアル番号」と記入し () で囲んで下さい。

当該打刻されている番号 (記号、符号を含む) のすべてを記入して下さい。

記入例

研究所使用欄	受付番号：	
--------	-------	--

車台番号（シリアル番号，VIN）の打刻様式の説明記入シート



車名・型式	アメリカ・AAA-111
-------	--------------

VIN POs.	打刻様式の説明	打刻記号の説明
(1)(2)(3)	WMI	SAL = United Kingdom Land Rover MPV
(4)(5)	LINE/SERIES/GVWR	SK = Range Rover/Sports Lux/ClassE
(6)	BODY TYPE	2 = 4Dr(Range Rover Sports)
(7)	ENGINE	5 = 4.4L V8
(8)	TRANSMISSION	4 = 6 Spd Auto
(9)	CHECK DIGIT	9
(10)	MODEL YEAR	9 = 2009
(11)	ASSEMBLY PLANT	A = Soliful,England
(12)~(17)	SEQ.PRODUCTION NUMBER	197230